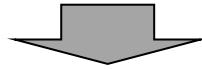


令和元年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（社会科）

		中学年	高学年
身に付けさせたい力	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における社会的事象を、自分の目よく見て考える力</li> <li>○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象に対し、意味や願いを調べた事実をもとに考える力</li> <li>○調べるために適した資料を収集し、必要な情報を読み取り、問題解決のために活用する力</li> </ul>
	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象に対し、学んだことから社会とのかかわり方を考える力</li> <li>○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象に対し、調べた事実からその意味や願いを<b>多角的・多面的</b>に考えることができる力</li> <li>○年表や写真などの各種資料から必要な情報を見付け、それらを<b>比較・関連・総合</b>して考えていく力</li> </ul>



		中学年	高学年
児童の実態	3年	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に興味・関心をもち、分かったことを個人やグループで意欲的にまとめている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域マップを見やすく工夫しながらまとめることができる。</li> <li>○自分の考えを表現できる児童とできない児童との差がある。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料から事実を読み取ることが難しい児童がいる。</li> </ul> <p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東西南北の方位や地図の見方、<b>地図記号</b>など、知識の面で習熟が必要な児童がいる。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象に対して問題意識をもち、調べ学習への意欲は高い。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>プレゼンテーションソフトや新聞、パンフレット</b>など、調べたことをまとめる活動に意欲的に取り組む児童が多いが、自分事として捉えることが不十分である。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に調べ学習に取り組むが、インターネットなどの資料の情報を<b>掘り下げようとせず、そのまま利用して満足</b>してしまう児童が見られる。</li> <li>○資料から事実の読み取りはできるが、相互関係やその意味を考えることが難しい。</li> </ul> <p><b>【知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県や方位、地図の見方など、既習事項が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>

4 年	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>○「安全な暮らし」の単元での消防署や警察署の働きのように、身近なことについてすすんで考えたり、調べたりしようとしている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○社会に見られる課題を見だし、それらの解決を自分ごととして考えることは難しい。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○問題を解決するために適した資料を収集し、読み取ることが難しい児童が多い。</p>	6 年	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>○歴史学習を好み、<b>豊富な知識をもっている</b>。また、意欲的に学習に取り組もうとする児童が多い。特に、調べ学習への意欲は高い。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○資料を読み取り、学習した史実から<b>自分の考えをもつことや判断したり、表現したりすることが難しい児童が多くいる</b>。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○資料を読み取る力が以前よりは身に付いてきた。しかし、<b>複数の資料を比較・関連・総合して読み取ったり</b>、資料を整理して自分なりに再構成したりして、全体的な傾向をとらえることが難しい児童がいる。</p>
--------	--	--------	--



授業改善の具体的な手立て	3 年	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○個人で見学して気付いたことや分かったことを発表したり、話し合いの機会を設定したりして、考えを整理して表現できるようにする。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○資料から読み取る視点を具体的に示して、明確にする。</p> <p><b>【知識】</b></p> <p>○知識の定着のために適宜地図帳やフラッシュカードを用いて、四方位や地図記号を確認する。</p>	5 年	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○学習問題を常に意識できる授業の組み立てをする。学習問題を立てて、それを解決する学習活動を考える。</p> <p>○まとめる段階では、社会的事象に対して、学習したことをもとに<b>自分とどのようにつながっているのかという視点を持って</b>考えを書く時間を確保する。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験したり、慣れたりできるようにする。</p> <p>○精選した資料の読み取る視点を明確にし、資料の読み取り方のスキルを身に付けさせる。</p> <p>○社会的事象を関連図やチャート図など様々な方法でまとめる機会を設ける。</p> <p><b>【知識】</b></p> <p>○単元に限らず、地図帳や地球儀など奇襲したことを随時活用していく。</p>
		<p>中学年</p>		<p>高学年</p>

<p>4 年</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> ○身近に捉えられる資料を提示し、自分と社会とのかかわりについて考えられるようにする。</p> <p><b>【技能】</b> ○具体的な視点を示して、資料から事実を読み取れるようにする。 ○資料の集め方やインターネットを活用した調べ方を適宜指導し、調べ学習の技能を高める。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> ○学習問題を<b>設定し、見通しをもたせた問題解決学習</b>を行う。 ○知識として知っているだけでなく、<b>資料を根拠に社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えれるよう、図表に整理することで自分の考えをまとめられるようにする。</b></p> <p><b>【技能】</b> ○複数の資料を比較したり、関連させたりして考えられるように、資料を精選したり、視点を明確にできるように線を引いたりして読み取りを行う。<b>また、それらを図解化して整理できるようにする。</b> ○関連図やチャート図、年表など様々な方法でまとめる機会を設ける。</p>
----------------	--	--

令和元年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（社会科）

		中学年	高学年
成果（○）と課題（●）	3年	○視点を示していくことで地域における社会的事象を、自分の目でよく見たり、調べたりする児童が多くなった。さらに、得た情報を共有できた。 ○見学に行った際、大切なキーワードをメモすることで、整理することができた。 ○新聞やリーフレットなど、表現に関する方法を繰り返し行うことにより、学習のまとめの仕方を身に付けられた。	○学習問題を常に意識できる授業の組み立てをすることで、見通しをもった問題解決的な学習をすることができた。 ○社会的事象に対して、学習したことをもとに自分の考えを書く時間を確保することで自分の考えを書ける児童が増えた。 ○資料を精選し、読み取る視点を明確にすることで、資料を読み取る力が付いてきた。 ○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験し、慣れることができた。
	5年	● <b>四方位や地図記号の定着が不十分な児童がいるため、随時繰り返し取り組ませる必要がある。</b> ●表現方法においては、図や絵、言葉を上手に組み合わせられる児童とそうではない児童がおり、個人差が大きい。組み合わせ方のモデルを示したり、一人一人に合った表現方法をアドバイスしたりするなど、個に応じた手立てを工夫する必要がある。 ●事実を捉えることはできる児童は多くいたが、そこから人々の思いや願いを考える児童に差が生じていたので、思考を促す手立てが必要である。	●調べるための的確な資料を収集することができる児童が増えたが、一方で資料を収集することが難しい児童もいて二極化が起きた。選ぶことが難しいインターネットを多用する児童もいるため、まず教科書や資料集といった身近な基礎資料から調べ、次に図書資料の内容を読んでから選ぶなど、課題に合った資料を的確に収集できる方法を指導していく。また、ペアやトリオ学習を取り入れることで差を埋めていく。 ● <b>社会的事象を関連図やチャート図など様々な方法でまとめる機会を設けるようにしていく。</b>

4 年	<p>○47都道府県のクイズを行うことで、興味をもって学習に取り組むことができた。</p> <p>○資料を数多く準備し、読み取る視点を具体的に示して明確にすることで、事実をもとに社会的事象や人々の思いについて考えることにつながった。</p> <p>○単元を通して自分との関わりや身近な問題として投げかけることで、学習したことから自分ができることを考えたり、表現したりすることができた。</p> <p>○学習問題を学級全体で話し合っって考え、予想をもとに学習計画を立てることで、主体的に学ぶことができるようになってきた。また学習問題の立て方や考え方への理解が定着した。</p> <p>●適切な資料を選び集めることが難しかった。教科書から資料を選ぶことからはじめ、資料を収集できる力を身に付けさせていく。</p> <p>●資料の読み取りの力に個人差があり、今後も継続的に指導をしていく必要がある。どのように読み取っていくのか、良い例を示していくことで理解を定着させていく。</p>	6 年	<p>○単元の初めに立てる学習問題を設定する際に、矛盾や驚きある資料提示をすることで問題意識をもって学習をすすめることができた。</p> <p>○資料から事実と考えたことに分けて読み取ったり、歴史上の人物の思いを考えたりすることができた。</p> <p>○歴史分野では、その時代ごとの史実や起こった理由、社会的背景について調べ、話し合うことができた。史実の順序についても、大きな時代の流れの中で捉え、出来事の順を簡単に整理することで理解を深めることができた。</p> <p>●史実を既に知っている児童も多いため、児童が自ら追究しようとしたり、多面的、多角的に考えられたりするような興味ある学習問題を設定できると良かった。</p> <p>●教師側が資料を用意し、提示することが多かったため、児童主体の授業展開がよりできるとよかった。関連する図書資料やインターネットを活用したり、児童が資料を準備したりすることで問題解決を図り、より児童が主体的な授業ができるようにしていく。</p>
--------	--	--------	---